

令和5年度 事後評価 対象課題

No.	採択年度	終了年度	研究期間 (2022年採 択)	研究 タイプ	領域	課題番号	研究機関名	役職	研究代表者名	研究課題名
1	R4	R5	2年	応用	A	23ama221101h0002	京都大学	教授	小川 誠司	RNAスプライシング変異を有する難治性腫瘍に対する新規治療薬の創生
2	R4	R5	2年	応用	A	23ama221102h0002	金沢大学	教授	平尾 敦	悪性化に伴う栄養代謝制御を標的とした革新的がん創薬に関する研究開発
3	R4	R5	2年	応用	A	23ama221103h0002	国立がん研究センター	分野長	北林 一生	エピゲノム制御因子を標的とする革新的がん治療法の開発
4	R4	R5	2年	応用	A	23ama221104h0002	大阪大学	特任教授(常勤)	菊池 章	GREB1による悪性腫瘍発症機構の解明にもとづく新規抗がん剤の研究開発
5	R4	R5	2年	応用	A	23ama221105h0002	東京大学	特任教授	秋山 徹	難治性がんを対象とした3つの新規分子標的薬の開発
6	R4	R5	2年	応用	A	23ama221106h0002	愛知県がんセンター	分野長	小根山 千歳	多量体型チロシナーゼを標的とした革新的がん治療法の開発
7	R4	R5	2年	次世代PI	A	23ama221107h0002	東京薬科大学	客員教授	林 嘉宏	ミトコンドリア動態異常を標的とする骨髄異形成症候群の新規治療法開発
8	R4	R5	2年	次世代PI	A	23ama221108h0002	がん研究会	特任研究員	高橋 元子	Pik1作動薬による染色体動態の破綻を介したがん細胞増殖抑制法の開発
9	R4	R5	2年	次世代PI	A	23ama221109h0002	国立がん研究センター	研究員	田中 庸介	膵臓がんのエピゲノム制御理解に基づくHippo経路標的治療法の開発
10	R4	R5	2年	次世代PI	A	23ama221110h0002	名古屋大学	助教	加藤 真一郎	治療抵抗性難治がんにおけるヒストン脱メチル化酵素LSD1の機能性ドメインを標的とした新規抗がん剤の開発
1	R4	R5	2年	応用	B	23ama221201h0002	東京大学	教授	山田 泰広	iPS細胞技術を用いた創薬スクリーニングによる希少難治性がん治療戦略の開発
2	R4	R5	2年	応用	B	23ama221202h0002	慶應義塾大学	教授	佐藤 俊朗	消化器がん-宿主相互作用を標的とした、浸潤・転移・再発に対する新規治療開発
3	R4	R5	2年	応用	B	23ama221203h0002	東京大学	教授	藤堂 具紀	がん生物学とウイルス学の融合による抗がんウイルス創薬システムの開発
4	R4	R5	2年	応用	B	23ama221204h0002	名古屋大学	教授	近藤 豊	膵臓がんに対する核酸医薬の効果的送達に関する研究開発
5	R4	R5	2年	応用	B	23ama221205h0002	東京医科歯科大学	教授	渡部 徹郎	口腔がん微小環境ネットワークシグナルの制御による多角的がん治療法の開発
6	R4	R5	2年	応用	B	23ama221206h0002	がん研究会	主任研究員	田中 美和	TFE3関連腫瘍の微小環境を標的とした革新的治療法の開発
7	R4	R5	2年	次世代PI	B	23ama221207h0002	国立がん研究センター	ユニット長	中奥 敬史	分子動力学シミュレーションを活用した変異の機能理解とがんゲノム医療への応用
8	R4	R5	2年	次世代PI	B	23ama221208h0002	国立がん研究センター	主任研究員	柳下 薫寛	小細胞肺がんPDXを用いた腫瘍と間質の経時的細胞解析による新規創薬標的探索研究
9	R4	R5	2年	次世代PI	B	23ama221209h0002	北海道大学	助教	菊地(間石) 奈湖	Cell cluster形成によるがん悪性化促進機構の解明と新規診断・治療法の開発
1	R4	R5	2年	応用	C	23ama221301h0002	国立がん研究センター	分野長	西川 博嘉	腫瘍浸潤細胞の時間的・空間的变化に基づく免疫抑制機構の解明と治療への展開
2	R4	R5	2年	応用	C	23ama221302h0002	東京薬科大学	教授	田中 正人	制御性単球を標的としたがん治療法の開発
3	R4	R5	2年	応用	C	23ama221303h0002	慶應義塾大学	教授	籠谷 勇紀	CAR-T細胞を薬剤送達システムとして活用したがん標的治療法の開発
4	R4	R5	2年	応用	C	23ama221304h0002	神戸大学	特命教授	的崎 尚	自然免疫系細胞の制御による新規がん免疫療法の研究開発
5	R4	R5	2年	応用	C	23ama221305h0002	京都大学	特定教授	茶本 健司	T細胞の脂肪酸代謝改善に注目したPD-1阻害併用治療法の開発
6	R4	R5	2年	応用	C	23ama221306h0002	東京理科大学	教授	松島 綱治	統合的複合がん免疫療法を目指した樹状細胞活性化アラミン、HMGN1ペプチドに関する研究開発
7	R4	R5	2年	次世代PI	C	23ama221307h0002	東京大学	助教	伊東 剛	免疫チェックポイントを制御する受容体-リガンド相互作用の包括的解明
8	R4	R5	2年	次世代PI	C	23ama221308h0002	札幌医科大学	特任助教	村田 憲治	腫瘍反応性TCRをプローブとして用いた新たな肉腫抗原同定法の開発
9	R4	R5	2年	次世代PI	C	23ama221309h0002	国立がん研究センター	研究員	田中 広祐	ミトコンドリアDNAに着目した免疫原性を高めるKRAS遺伝子変異がんの新たな治療開発
1	R4	R5	2年	応用	D	23ama221401h0002	日本医科大学	教授	本田 一文	抗体基盤網羅的スクリーニングによる消化器がん早期診断バイオマーカーの開発
2	R4	R5	2年	応用	D	23ama221402h0002	金沢大学	教授	松本 邦夫	環状ペプチド基盤プラットフォーム分子技術によるイメージング診断・治療用高機能分子創成と検証
3	R4	R5	2年	応用	D	23ama221403h0002	広島大学	特任教授	檜山 英三	新規バイオマーカーを用いた小児肝腫瘍のリキッドバイオプシー創出研究
4	R4	R5	2年	応用	D	23ama221404h0002	大阪大学	教授	谷内田 真一	腸内環境解析による若年発症大腸癌の易罹患性・早期診断バイオマーカーの開発
5	R4	R5	2年	応用	D	23ama221405h0002	東京医科大学	講師(特任)	吉岡 祐亮	エクソソームを活用したバイオマーカーによる新規膵臓がん診断法の開発
6	R4	R5	2年	応用	D	23ama221406h0002	星薬科大学	学長	牛島 俊和	メチル化合成致死を利用した高精度コンパニオン診断と治療戦略の開発
7	R4	R5	2年	次世代PI	D	23ama221407h0002	名古屋大学	病院講師	横井 暁	微量体液中エクソソーム解析による革新的がん腹膜播種バイオマーカー開発
8	R4	R5	2年	次世代PI	D	23ama221408h0002	愛知県がんセンター	主任研究員	阿部 雄一	ハイスループット自己抗原プロテオミクスによる膵臓特異的抗原の同定と早期診断マーカーパネルの構築
9	R4	R5	2年	次世代PI	D	23ama221409h0002	がん研究会	主任研究員	芳賀 淑美	糖鎖プロファイリング技術を基盤とした免疫チェックポイント阻害剤効果予測モデルの確立を目指した研究
1	R4	R5	2年	応用	E	23ama221501h0002	東京大学	教授	柴田 龍弘	難治性がんにおけるエピジェネティックな多様性・環境適応創生機構の解明に基づく新たな治療法開発
2	R4	R5	2年	応用	E	23ama221502h0002	東京大学	教授	石川 俊平	胃癌のゲノム病理情報の統合による診断・治療体系の開発
3	R4	R5	2年	応用	E	23ama221503h0002	東京大学	特任准教授	永江 玄太	薬剤耐性パーシスター細胞の代謝的適応に対する創薬ポイントの開発
4	R4	R5	2年	応用	E	23ama221504h0002	北海道大学	教授	田中 伸哉	ハイドロゲルを用いたがんの不均一性制御の医療応用基盤開発
5	R4	R5	2年	応用	E	23ama221505h0002	京都大学	教授	滝田 順子	難治性小児がんの時空的多様性の解明と新規創薬の開発
6	R4	R5	2年	応用	E	23ama221506h0002	東京大学	教授	南谷 泰仁	骨髄異形成症候群の薬剤感受性に基いた疾患分類と臨床応用
7	R4	R5	2年	次世代PI	E	23ama221507h0002	国立がん研究センター	特任研究員	熊谷 尚悟	転移性病変の腫瘍不均一性が生み出すがん免疫治療抵抗性の克服
8	R4	R5	2年	次世代PI	E	23ama221508h0002	京都大学	特定講師	昆 彩奈	DDX41変異前がん細胞と微小環境の相互作用に基づくクロン進化過程の理解と新たな治療標的の解明
9	R4	R5	2年	次世代PI	E	23ama221509h0002	慶應義塾	助教	増田 健太	新規モデルマウスと臨床検体を用いた卵巣癌微小残存病変に対する新規治療戦略の開発